

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路維持課長 山崎泰助	電話番号	0852-22-5187
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	橋梁耐震事業
目的	(1) 対象 道路利用者
	(2) 意図 道路を安全で快適に利用できるようにする
事業概要	災害発生時における救助、救急、消防活動及び救援物資の輸送が円滑に行えるよう、緊急輸送道路上の橋梁の耐震化を行う。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 緊急輸送道路網橋梁耐震対策実施率	目標値		62.0	67.0	71.0	73.0	%
		取組目標値						
	式・定義 橋梁耐震対策完了橋梁数(累計) / 対策が必要な橋梁数(207橋)	実績値	59.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	1,592,620	2,046,439
うち一般財源(千円)	58,143	82,932

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

島根県が管理する橋梁2,663橋(平成27年度末)のうち、阪神淡路大震災クラスの地震には耐えられないため、耐震化が必要な橋梁は約1,900橋ある。このうち、緊急輸送道路上にある橋梁は800橋にのぼる。
 現在、平成30年代半ばを目標に、緊急輸送道路上の橋のうち最優先で実施すべき207橋(※)の耐震化をすすめており、H27~H31の間で32橋(118橋/207橋→150橋/207橋)の対策を行う予定。
 平成27年度は新たに4橋が完了し、進捗率は59%(122橋/207橋)となっている。
 対策完了橋梁数の年次目標は、H28:129 → H29:138 → H30:146 → H31:150 (成果参考指標はこれを対策が必要な橋梁数で割ったもの)
 ※最優先で実施すべき橋梁:平成8年より古い基準で建設された、15m以上かつ複数径間の橋

6. 成果があったこと(改善されたこと)

緊急輸送道路上の橋梁の耐震化は、ほぼ計画どおりに進めることができており、災害発生時における緊急輸送道路の信頼性は着実に向上している。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
緊急輸送道路上の橋梁耐震化は着実に進んでいるものの、具体的に計画している橋梁は207橋であり、緊急輸送道路上の橋梁の約25%にすぎない。できる限り早期に耐震化をすすめることが重要な緊急輸送道路上の橋梁耐震化を前倒しできるほど進んでいない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
限られた県予算を有効に活用するため、交付金(国費)への依存が大きいため、大幅な予算増額が見込めない。
- ③原因を解消するための「課題」
予算の継続的な確保に加え、橋梁耐震事業の促進を図るために、あらゆる機会を活かし予算の上積みを図る必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

国の通常予算における交付金の他、補正予算等の機会を活用しつつ、橋梁耐震化予算を最大限確保するよう努める。また、補正予算等に対応できるよう、耐震設計調査を先行して行う。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。